

VRSJ

THE VIRTUAL REALITY SOCIETY OF JAPAN

- 日本バーチャルリアリティ学会
- サイバースペースと仮想都市研究会

様々なサイバースペース技術（個と個あるいは社会を結ぶIT技術）が普及段階を迎え、社会システムを支える基盤となると同時に、個人のツールとしても個人の生活スタイルを大きく変化させており、これらの技術なしで我々の生活は成り立たなくなっています。情報通信の発達により急速に仕組みが変わっていく世の中と、その中に生きながらも本質的には変化しないように見える人間を対比させながら、技術が社会に与えるインパクトを、情報科学分野の専門家だけでなく、社会学、人間科学などの専門家を迎え、社会全体からの観点と、個人からの観点で検証していきます。

「変わる社会、変わらない人間」

日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究会 第9回シンポジウム

日時： 2006年12月1日（金） 10:30～17:30（時間は予定）
会場： 筑波大学東京キャンパス・大塚地区G棟501室（東京都文京区大塚）
主催： 日本バーチャルリアリティ学会サイバースペースと仮想都市研究委員会
シンポジウム実行委員長： 小林 稔（NTTサイバーソリューション研究所）
実行委員： 葛岡 英明（筑波大）、椎尾 一郎（お茶の水女子大）、塩澤 秀和（玉川大）、
坂内 祐一（キヤノン）、本田 新九郎（NTTレゾナント）、前原 秀明（三菱電機）、
宮崎 敏彦（沖電気）、渡辺 喜道（山梨大学）
サイバースペースと仮想都市研究委員会委員長： 岡田 謙一（慶応大）

●アドバンスプログラム

10:30～10:40 開会の辞

第一部

10:40～11:30 サイバースペースと<コミュニティ>形式 — 「共在」感覚について
遠藤 薫（学習院大学）
11:30～12:20 情報セキュリティの変遷 ～技術と意識の間にあるもの～
荒金 陽助（NTT情報流通プラットフォーム研究所）

第二部

13:50～14:40 情報検索に用いられる日本語処理技術
北岸 郁雄（ヤフー株式会社サービス統括部）
14:40～15:30 モバイルの進化と社会の変化
遠藤 貴志（NTTデータ）

第三部

15:40～16:30 人間の五感情報通信 —主として嗅覚・味覚計測について—
外池 光雄（千葉大学）
16:30～17:20 光トポグラフィを用いた無侵襲ブレインマシンインタフェース
宇都木 契、相良 和彦、牧 敦、小泉 英明（日立製作所）

※講演タイトルは仮題です。プログラムは変更される可能性があります

●参加費

- 1: V R学会正会員 12,000円
- 2: 仮想都市研究会登録会員 12,000円
- 3: 学生 6,000円
- 4: 非会員 14,000円

※参加費は当日現金にてお支払い下さい。

●会場の御案内

筑波大学東京キャンパス・大塚地区
G棟501室（東京都文京区大塚）
地下鉄丸の内線、茗荷谷駅の近くです。
住所： 東京都文京区大塚3-29-1
アクセスは、次のURLをご参照下さい。

http://www.tsukuba.ac.jp/navi/img/tokyo-campus_b.gif

●参加申し込み

本シンポジウムは例年多数の方に御参加いただいております。
本年も多数の参加が予想されますので、事前登録をお願いしております。
申し込みページよりお申し込みください。

●問合せ先： 渡辺 喜道（山梨大学） 電子メール： nabe@yamanashi.ac.jp